



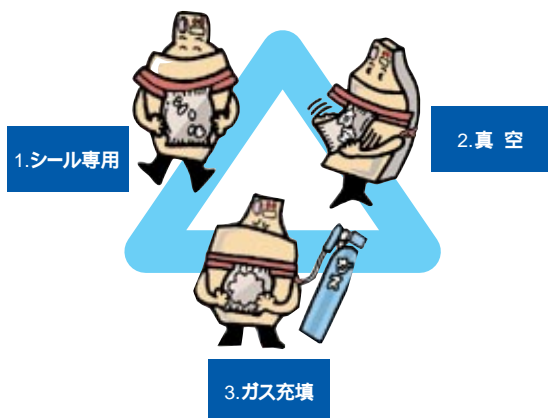
## 食品や電子部品などの酸化・変質防止に 真空・ガス充填包装

FG-400Eシリーズは手軽に真空(脱気)・ガス充填・シール作業を行うことができ、全ての動作が静かで安全性に優れています。操作回路にはシーケンスコントローラーを採用しています。

大袋から小袋まで用途に応じた幅広いバリエーション(10機種)を取り揃え、ニーズに合わせて選択していただくことができます。

### 主な特徴

- 1台で3パターンの作業方法が選択可能



- 1 シール専用…… シール作業のみ
  - 2 真空…… 脱気とシール作業
  - 3 ガス充填…… 脱気・ガス充填・シール作業
- 切替スイッチで選択できます。

2. 真空ポンプ、コンプレッサー内蔵  
真空ポンプ、コンプレッサーを内蔵していますので他のエア源は必要ありません。  
コンパクトでキャスター付ですので大きな設置場所は  
らず移動も簡単にできます。

3. 駆動式特殊ノズル機構  
駆動式特殊ノズル機構を採用していますので、確実にシールを袋の先端で行えます。また、ノズルの間隔を無段階で可変する事ができます。



4. 自由に調整できる真空計  
接点付真空計を採用していますので真空度(脱気度合い)は、自由に調整でき、目で確認しながら作業が行えます。
5. 高さ・角度調整ができるテーブル  
内容物に合わせてテーブルの角度・高さの調整が可能です。  
袋の大きさに応じた3種類のテーブルをご用意しています。  
サイズ  
標準テーブル : 410mm幅 × 300mm  
大袋用テーブル1(オプション) : 410mm幅 × 450mm  
大袋用テーブル2(オプション) : 410mm幅 × 520mm
6. 併用可能な2個のガスコックを装備  
窒素ガス、炭酸ガスなどが併用(混合)できる2個のガス用コックが付いています。

# FUJI IMPULSE



## 駆動式特殊ノズル機構

2本のノズル間隔を無段階調整することができます。

## 内蔵真空ポンプ能力

到達真空度:  $9.3 \times 10^{-3}$  Kpa (10torr)  
注) 到達真空度は0torrを0Paとしています  
注) 真空ポンプ及びビジェクターの能力は、機械に組み込んでいない状態で計測した数値です

## 主な仕様

区分	内容物	機種	FG-400E									
			真空ポンプ50リットル/min						真空ポンプ100リットル/min			
			N	N-10W	NG	NG-10W	NC	NC-10W	S	S-10W	SG	SG-10W
仕様	電源 (V)		100	200	100	200	100	200	100	200	100	200
	電力 (KW)		2.0	3.8	2.0	3.8	2.0	3.8	2.0	4.0	2.0	4.0
	プラグ形状											
	シール長さ (mm)		400	400	400	400	400	400	400	400	400	400
	シール幅 (mm)		10±0.5	10	10±0.5	10	10±0.5	10	10±0.5	10	10±0.5	10
	ノズル (本)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	重量 (kg)		88	98	88	98	88	98	100	110	100	110
	真空ポンプ		内蔵									
	機械寸法 (mm)		幅510×奥行860×高1170									
使用内容	真空包装	米穀類								○		
		肥料・飼料								○		
		半導体	○							○		
		精密部品	○							○		
	ガス充填包装	カステラ					○	○				
		まんじゅう					○	○				
		生菓子					○	○				
		もち				○	○	○				
		花かつお・削り節					○				○	○
		茶						○				○
		肉類						○		○		○
		珍味						○				○
		揚げ菓子				○		○				○
コーヒー豆				○	○	○	○			○		
用途機能	FG-400Eシリーズ											
	N	50リットル/min真空ポンプ内蔵。主に小袋用。										
	NC	50リットル/min真空ポンプ内蔵。袋内のガスを循環させながらガス置換を行う。柔らかい内容物用。										
	NG	50リットル/min真空ポンプ内蔵。脱気→ガス充填→再脱気→再ガス充填を行い高置換率を得ることができる。										
	S	100リットル/min真空ポンプ内蔵。主に大袋用。										
	SG	100リットル/min真空ポンプ内蔵。脱気→ガス充填→再脱気→再ガス充填を行い大袋でも高置換率を得ることができる。										

### ■包装材料について

ガス充填包装には、内容物に応じて包材の選定が大切です。PEやPPなどは酸素透過が大きいのでガス充填包装には不向きです。エパール、OVフィルムなどのガスバリア性の高いものにラミネートした包材が必要です。その他、袋の形状、内容物、輸送時の衝撃も考慮して包装資材店とご相談ください。

### ■不活性ガスについて

食品に使用される主な不活性ガスは、窒素 (N<sub>2</sub>)、炭酸 (CO<sub>2</sub>)、アルゴン等ですが、食品の特性によってN<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>、混合ガスと言うように充填ガスの種類もいろいろです。内容物の特性に応じたガスを選定し、最も効果のあるガス充填包装することをお勧めします。

製造元 **富士インパルス株式会社**

### ■取扱特約店